

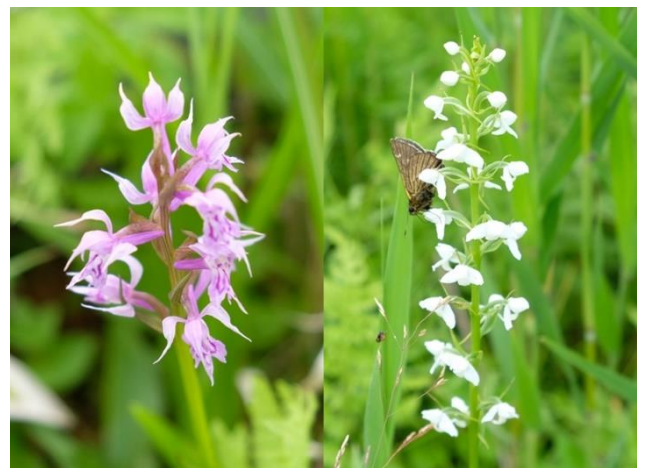


尾瀬(おぜ)



今年の一泊山行は尾瀬ヶ原へ、梅雨が明けずに台風までやってくる状況だったが何とか影響を受けずに曇り空に時々薄日が差す絶好のコンディションで歩くことができた。ゲストの山本さんを含めて21名の参加でリーダーは福手さん。5時半に北センター出発して関越道を北上する。赤城山の麓に朝霧が立ち込める風景や、谷川岳の双耳峰がはっきり見える。今年も3班に班分けして歩くことにした。8時過ぎに尾瀬戸倉に到着、乗合タクシーに分乗して鳩待峠へ。記念撮影をして山ノ鼻に向けて下りの道を行くと、シャクナゲを始め様々な花が沿道に咲いている。育ちすぎた水芭蕉の大きな葉っぱが沢山あった。川上川を過ぎて山ノ鼻に到着して一休み。ここから尾瀬ヶ原の木道歩きが始まる。次々に出てくる花々の撮影に時間がかかるが、そこはリーダーが上手くコントロールしてくれて温泉小屋まで予定より30分早く到着できた。ここから三条の滝まで16名が希望して身軽な装備で往復

した。尾瀬ヶ原の歩きやすい木道と違い、泥々の道や岩の間を下ったり、急なはしごを降りたり登ったりと結構しんどい歩きになったが雄大な滝を見ることができた。温泉小屋は温泉の風呂があるので汗を流してさっぱりできた。



翌日も夜中に降った雨が上がり、尾瀬ヶ原の先に至仏山がはっきり見えるいい天気だ。朝食後見晴に向けて出発、見晴からは白砂峠へ上りの道が延々続くように感じながら歩く。峠を越えて白砂田代から沼尻に着き、尾瀬沼を見ながらしばし休憩。沼を北回りで歩いていくと長蔵小屋手前でニッコウキスゲの大群落が待ち構えていた。すばらしい花を楽しんで、尾瀬沼ビジターセンター前で昼食。三平峠の上りに備えて充分エネルギーと美味しい冷たい水を補給する。三平峠から長い下りを一時間下った一ノ瀬休憩所で乗合タクシーに分乗して大清水まで下る。これで一時間時間を短縮し、帰りに花咲の湯に立ち寄り、二日間の疲れを癒やすことができた。



5:30 北市民セ→尾瀬戸倉 8:00→鳩待峠 8:40→山ノ鼻 10:30→牛首分岐 11:00→ヨツピ吊橋 12:00→東電小屋 12:30→温泉小屋 13:30→三条の滝 14:30→温泉小屋戻り 15:30

二日目

7:00 温泉小屋発→見晴 7:30→白砂峠 9:00→沼尻 9:40→長蔵小屋 11:00→三平峠 12:10→一ノ瀬 13:30→大清水 13:50 @20000 円 (伊藤記)